

平成 27 年度 事業報告書

1 組織強化活動

(1) 全戸会員制の推進

社会福祉事業の組織的活動の促進と地域福祉の増進を図るため、社協の全戸会員制を推進し、各自治会の協力のもとに7,386戸で98%の加入実績となった。

(2) 高額寄付者に対する感謝状の贈呈

社会福祉事業に10万円以上の金品を寄付された17名の寄付者に対し、感謝状を贈呈した。

(3) 主な研修会等への参加

- 上川管内北部ブロック事務局長会議 (27年5月22日 士別市1名)
- 全道社協会長事務局長研究協議会 (27年6月2日～3日 札幌市2名)
- 上川管内社協職員連絡協議会研修会 (27年6月12日 旭川市2名)
- 上川管内市町村社協会長事務局長会議 (27年6月29日 旭川市2名)
- 全道社連協研修会 (27年8月3日～4日 札幌市1名)
- 成年後見事業視察 (27年8月27日 富良野市2名)
- 道北7市社協職員自主研修会 (27年9月11日～12日 士別市10名)
- 上川管内社協役職員研修会 (27年11月2日 旭川市5名)
- 上川管内社連協研修会 (27年11月5日～6日 留萌市2名)
- 全道市町村社協会長事務局長連絡会議 (27年11月10日 札幌市2名)
- 上川管内社連協北部ブロック研修会 (27年11月14日 名寄市2名)
- 道社協地域部会総会 (28年1月29日 札幌市1名)

2 広報広聴活動の充実

(1) 社協だよりの発行

全戸配布する「社協だより」を、6回（第180～第185号）発行し、各種福祉サービス、ボランティア活動及び住民の福祉活動など幅広い情報の提供に努めた。

(2) 情報提供

各種ボランティアスクール開催案内等、ホームページによる福祉サービスの情報提供、また市内報道機関・行政の協力による広報活動を行った。

(3) 広聴活動

広聴活動については、社協に常設の心配ごと相談所を開設し、相談員(社協職員・民生委員児童委員)が市民の福祉を中心とする日常生活上の相談に応じるとともに、

様々な意見などを伺う広聴活動に取り組んだ。

また、平成25年度に設置の「第2期士別市地域福祉実践計画策定懇談会」を定期的
に開催し、社協事業の審議・検証と合わせ、各種の福祉団体等に所属している、12名
の懇談会委員から意見等を伺う広聴活動を実施した。

3 地域福祉活動

(1) 支部活動の推進

市内の地区自治会連合会を単位とした5支部（中央・上士別・多寄・温根別
・朝日）に対し、各地区独自の地域福祉活動の推進を図るため活動費を助成し
た。

(2) 小地域ネットワーク活動推進事業

在宅福祉活動がより一層地域に定着していくことを願って、平成2年度から
単位自治会を対象とした「在宅福祉サービス実践地区指定事業」を行ってきた
が、平成14年度より「小地域ネットワーク活動推進事業」として改め、各自
治会とタイアップした地域福祉の推進をめざし、本年度は25自治会に、1自
治会3万円の助成を行った。

(3) 災害に強い地域づくりの推進

士別市地域防災計画に基づき、復興復旧の救援活動を行うボランティアの受入調整
と、その体制づくりを推進する、「士別市災害救援ボランティアセンター設置運営マ
ニュアル」を整備している。

また、北海道内において自然災害等が発生した場合、道内の各市町村社協が相互に
救援活動を推進することの、「災害救援活動の支援に関する協定」について、北海道
社会福祉協議会と、締結している。

さらに、市民や社協職員を対象とした、災害に強い地域づくり研修会を次のとおり
実施した。

研修月日 2月27日(土)

会 場 士別市民文化センター

活動報告 ・「小地域ネットワーク活動報告」

報告者：南町南栄自治会

・「中高生ワークキャンプ（災害食）体験発表」

報告者：ワークキャンプ参加学生有志

講 演 ・「士別市の防災への取り組みについて」

講師：士別市総務部総務課 主幹 岡崎忠幸 氏

・「『まさか』のときに繋がる地域づくり」

講師：一般社団法人ウェルビーデザイン理事長 篠原辰二 氏

参加者 市民 66名

4 ボランティア活動

(1)平成27年度士別市福祉教育懇談会

日 程 5月 14日(木) 18:30～20:00

会 場 士別市民文化センター 研修室

内 容 講演 「夢を追いかけて」

～日本一の選手が語る、これまでの歩みと夢～

講師 池崎 大輔 氏

ウィルチェア(車いす)ラグビー 日本代表選手

北海道ビックディッパーズ所属

参加者 市内教員、ボランティアセンター運営委員等 32名

(2)平成27年度第1回士別市民ボランティアスクール

日 程 5月 15日(金) 18:30～20:00

会 場 士別市民文化センター 小ホール

講演 「世界の頂点を目指して」

～日本一の選手が語る、これまでの歩みと夢～

講師 池崎 大輔 氏

参加者 114名

(3)上川北部ボランティア実践者交流会

日 程 8月29日(土)

会 場 名寄市民文化センター/エンレイホール

内 容 ・トークセッション「世界一のピアニストが語るこれまでの歩み」

語り手 山崎 理絵 氏/大平 啓明 氏

・ワークショップ「みんなで覚える“みんなのうた”」

指 導 大平 啓明 氏/名寄手話の会

・コンサート「ステキなピアノコンサート」

～世界一のピアニストが奏でる音色と「みんなのうた」～

※最後は、名寄市内の小学生や上川北部管内ボランティア等と一緒にステージに登壇し、山崎氏の伴奏で、ワークショップで覚えた手話歌を披露した。

参加者 8名(士別市)

(4)平成27年度第2回士別市民ボランティアスクール

日 程 9月16日(水) 18:30～20:00

会 場 士別市民文化センター 研修室

内 容 講演 「すべての子どもたちが健やかに育つために」

～子どもシェルターモモの活動から～

講師 井上 雅雄 氏

弁護士

子どもシェルターモモ副理事長

参加者 93名

(5) 第37回住民福祉活動を進めるつどい

日 程 10月16日(金) 18:30～20:00
会 場 士別市民文化センター 小ホール
内 容 講演 「住民主体の地域づくり」
～たかしま流見守りネットワークとは～
講師 杉本 学士 氏
滋賀県高島市社会福祉協議会 法人本部 地域福祉係長
参加者 101名

(6) ボランティア研修交流会

日 程 10月17日(土) 14:30～20:00
会 場 士別市生涯学習情報センターいぶき
内 容 ・シンポジウム
「まちづくりとボランティア」
シンポジスト
杉本 学士 氏
滋賀県高島市社会福祉協議会 法人本部 地域福祉係長氏
鈴木 盈宏氏
NPO法人 日本ボランティアコーディネーター協会理事
・情報交換「こんなことしてみたい！提案会」
・交流会
参加者 41名
(士別市16名、名寄市13名、剣淵町 6名、和寒町 4名、講師 2名)

(7) 第21回士別市中学生・高校生ワークキャンプ

日 程 11月 7日(土) ～ 8日(日)
会 場 士別市つくも青少年の家
内 容 テーマ「災害発生！”もしも”のとき、何ができるか考えよう」
～みんなが食べられる災害食について学ぼう～
講演、ワークショップ、調理体験等
講師 菅原 清香氏 一般社団法人コミュニティ・4・チルドレン
福祉・防災学習コーディネーター
篠原 辰二氏 一般社団法人ウェルビーデザイン理事長
参加者 市内高校生、ボランティアセンター運営委員 15名

(8) 平成27年度第3回市民ボランティアスクール

日 程 2月18日(木)
会 場 士別市民文化センター
内 容 発表・情報交換
テーマ「みんなで考えよう！士別のボランティア」
発表協力 市内ボランティア団体
参加者 45名

(9) 平成27年度第2回ボランティア指定校担当者会議

日 程 2月25日(木) 18:30～20:00

会 場 サポートセンターしべつ 2階 会議室1

内 容 今年度「子どもの心を育む講演・交流事業」を行った学校2校からの実践報告や、各校の担当者とボランティアセンター運営委員の情報交換を行った。

参加者 23名

(10) 子どもの心を育む福祉教育推進事業

「福祉教育が地域福祉の根幹をつくる」と言われており、このため、これを目指して子どもの豊かな福祉感と、健やかな成長を育むことの福祉教育推進事業を、次のとおり実施した。

- ・ テーマ 「ウィルチェアラグビーとの出会いとこれからの夢」

～講師：池崎 大輔 氏

5月15日 士別西小学校 5年生 20名

士別南小学校 5・6年生 60名

- ・ テーマ 「落語を聴こう」 ～講師：林家とんでん平 氏

6月25日 士別西小学校 4年生 20名

- ・ テーマ 「伝えること」 ～講師：林家とんでん平 氏

6月25日 士別東高校 全校生徒 20名

- ・ テーマ 「バリアフリーからユニバーサルデザインへ」

～講師：障がい者の地域生活を支援する会

1月29日 士別東高校 1年生

2・3年生生活コース 10名

- ・ テーマ 「福祉ってなあに？」 ～講師 社協職員

2月10日 士別南小学校 3年生 48名

- ・ テーマ 「福祉ってなあに？」 ～講師 林家とんでん平 氏

3月 2日 士別南小学校 3年生 48名

- ・ テーマ 「手話落語に触れよう」 ～講師 林家とんでん平 氏

3月 1日 士別小学校 5年生 45名

(11) 福祉・ボランティア団体助成事業

福祉団体、ボランティア団体の活動を援助するため、18団体に対し助成し活動の助長を図った。

(12) 学童生徒のボランティア活動普及事業

本事業は、学童生徒の社会福祉への理解と関心を深め、ボランティア精神を養うことを目的として、市内全校（小学校8校、中学校6校、高等学校1校）に対し、高等学校は年間5万円、生徒数20人以上の小中学校は年間5万円、20人未満の学校は年間3万円を助成し活動の助長を図った。

(13) 士別市ボランティアセンターの運営

本市のボランティア活動を推進するため、18名の運営委員のもと各種ボランティアスクール、ワークキャンプ、住民福祉活動を進めるつどい等の企画運営や、ボランティアセンターだよりの発行等に取り組んだ。

○運営委員会 委員18名 委員会12回（第2月曜日）開催

○個人登録ボランティア 80名（平成28年3月31日現在）

○ボランティアセンターだよりの発行 3回

○社協だより掲示板への掲載 6回

○ボランティア指定校担当者会議の開催 2回

○土曜ボランティア学習塾の開催（対象…中学生、高校生）

（ボランティア体験学習や情報交換を継続的に実施）

塾登録者 22名

塾開催日 毎月第2土曜日（11回開催）

参加者数 延べ143名（塾生・VC・引率教員含む）

開催内容 ふれあい広場（学童生徒コーナー）企画運営

児童館児童、障がい者との交流、年賀状代筆ボランティア等

○社会貢献活動への協力

「ペットボトルのキャップを集めて世界の子どもたちのために役立てよう」「空き缶のリングプルを集めて車椅子を贈ろう」という運動が市民に定着してきており、エコキャップ（ペットボトルのキャップ）に関しては、本年度は延べ589団体・個人から寄せられ、平成20年4月からの送付累計は7,037,420個（28年3月31日現在）。

(14) 収集ボランティア活動

市民から寄せられた使用済み切手、プリペイトカードを収集ボランティアサークルひまわりが整理し「誕生日ありがとう運動本部」に送っており、本年度の実績は次のとおりである。

使用済み切手 195件 197,317枚

使用済みカード 48件 2,806枚

(15) 声の図書活動

○声の図書貸出事業

本事業は、小説、市の広報誌等を、声の図書朗読ボランティアが録音し、貸し出すものであり、出来上がった録音テープは現在1,855編12,328本となり、本年度の貸し出しは延15件275編1,493本であった。

・利用者 視力障がい者他 3名

5 互助共励活動

(1) 無縁仏供養

日程 8月20日

会場 しべつ霊園「無縁の碑」

無縁者の霊を慰めるため、昭和60年士別市が建立した「無縁の碑」において、市関係者の参列のもと52柱の供養をした。

(2) 歳末たすけあい募金運動（27年12月 1日～30日）

本募金運動は、多くの市民、事業所、団体等の協力のもと、士別市共同募金委員会と共催で実施しており、本年度は催し物による募金を含め、47件1,427,971円の浄財が寄せられた。

なお、毎年恒例となっている、ボランティアサークルむぎの会主催による「歳末チャリティーふれあい演芸会」益金461,930円と、しべつふれあいの会主催「歳末チャリティーカラオケ選手権大会」益金388,330円の募金合計は、850,260円となり実績の約59%を占めている。

(3) 「ふれあい募金箱」運動

昭和58年より、歳末たすけあい募金運動の通年化と市民の善意の助長を図るため、しべつふれあいの会の協力のもと「ふれあい募金箱」を設置しており、その総額が62,501円となり、全額趣旨に添って「歳末たすけあい募金」として寄贈した。

募金箱設置事業所 市内37ヶ所

(4) 歳末たすけあい見舞事業（27年12月）

民生委員・市保健福祉部の協力により対象者を調査し、歳末見舞金品を交付した。

対象者 175名 見舞金品総額 1,381,379円

(5) ふれあい広場'15 IN しべつ PART32

日程 7月4日（土）～5日（日）

会場 士別市総合体育館

テーマ 「で愛 ふれ愛 かたり愛」～あふれる笑顔 みんなが主役～

実施主体 福祉・ボランティア団体・各学校並びに市民有志で構成された、216名の「ふれあい広場'15INしべつPART32実行委員会」が、企画から当日の運営にあたった。

内容

- ・語らいコーナー…語らいサロン、血圧測定、健康相談（市立病院医師派遣）
- ・体験の広場…点字教室、盲導犬体験・講話、収集ボランティア活動体験、アダプテッドスポーツ体験（車イスラグビー等）等
メインテーマ
「アダプテッドスポーツ体験」
- ・ステージ企画…ふれあいコンサート 等

- ・ふれあいの店…障がい者関係作品展示即売、バザー
- ・ボランティア障がい者福祉展
…布の絵本わらべ展、特別支援教育作品展、福島県川内村帰村への歩み展
- ・学童生徒ボランティア活動展
…各学校のボランティア活動時のパネル写真展・学童生徒企画コーナー（駄菓子屋、バルーンアート等）
- ・福祉標語
応募点数 617名
最優秀作品 「差しのべる その手の先に 思いやり」
- ・ふれあいの夕べ（17：30～19：00）

参加者 525名（つまみセット交換数）

会議 実行委員会2回含め 24回開催

入場者 2日間 約 3,000名

協力者 2日間 511名（実行委員、事務局を除く）

※ステージ出演者含む

ガイドヘルプ活動

ガイドヘルプ委員会を設け、自力で移動の困難な方に対してのガイドヘルプ活動を行い、2日間で16名が参加した。

(6)生活福祉資金貸付事務

低所得者や高齢者、障がい者のいる世帯等の生活自立を支援するため北海道社会福祉協議会が主体となり、市町村社協が相談窓口となっている事業で、本年度は生活支援費、教育支援資金についての相談が12件あった。

平成28年3月31日現在

資 金 名		件数	貸 付 額
更生資金	生業費	1	1,642,500円
教育支援資金	教育支援費	4	7,512,000円
教育支援資金	教育支援費+就学支度金	6	7,670,000円
緊急小口資金		1	100,000円
計		12	16,924,500円

(7)士別市心配ごと相談所運営

近年、市民の悩みごとや心配ごと等、相談内容の多様化が目立っており、適切な助言と、各種福祉制度等の紹介活用等を行った。

相 談 所

常設相談所…社協事務局内に置き、相談員が随時相談を受けている。

地域相談所…58名の相談員（民生委員）宅とし随時相談を受けている。

相談件数 年間140件

主な相談内容（相談件数の多い順）は、老人福祉、苦情、健康、生計であった。

(8) 老人安全杖贈呈事業

おおむね70歳以上の高齢者や障がい者に対し、申し出により安全杖を無料で贈呈しており、本年度は129本の利用があった。

6 朝日地域福祉事業

(1) ふれあい昼食会

町内の70歳以上の高齢者を対象に昼食会を月1回開催し、ボランティアを含め延べ793名の参加があった。(高齢者633名、ボランティア160名)

(2) 第48回福祉運動会

日 程 10月22日(木)

会 場 朝日町農業者トレーニングセンター

参加者 133名 (65歳以上の住民87名、ボランティア46名)

(3) ボランティア支援事業

○広報紙「ぼらんていあネットワーク」を年6回発行した。

(4) 助成事業

心身障がい児の療育施設通所に対し交通費の一部を助成した。

- ・土別市こども通園センターのぞみ園通園者3世帯4人(40回)
- ・旭川市療育施設通園者1世帯1人(13回)
- ・名寄市立総合病院リハビリ通院者1世帯1人(15回)

7 土別市指定管理及び受託事業

(1) 土別市総合福祉センター指定管理運営事業 [別記1]

(2) 土別市多世代スポーツ交流館指定管理運営事業 [別記2]

(3) サポートセンターしべつ受託事業 [別記3]

(4) 土別市施設入浴サービス受託事業 [別記4]

(5) 土別市移送サービス受託事業 [別記5]

(6) 土別市在宅介護支援センター運営受託事業 [別記6]

(7) 福祉パトロール受託事業 [別記7]

(8) 土別市いきいきデイサービス受託事業 [別記8]

8 介護保険制度に係わる事業者指定

(1) 居宅支援事業所（ケアプラン作成機関）

士別市社協居宅介護支援事業所 平成12年4月1日(指定) [別記9]

(2) 居宅サービス事業所（サービス提供機関）

士別市社協ヘルパーステーション 平成12年4月1日(指定) [別記10]

士別市社協訪問入浴事業所 平成12年4月1日(指定) [別記11]

9 障害者総合支援法に係わる事業者指定

(1) 居宅支援事業所（身体・知的・児童・精神）

士別市社協ヘルパーステーション 平成18年4月1日(指定) [別記12]

10 介護保険関係研修会への参加

- 介護支援専門員更新研修 (27年6月～10月 旭川市1名)
- 全道ホームヘルプサービス研究大会 (27年7月16日～17日 札幌市1名)
- 主任ケアマネフォローアップ研修 (27年8月29日～30日 札幌市1名)
- 介護給付費等適正化事業 (27年9月3日～4日 士別市2名)
- 高齢者虐待防止推進研修会 (27年9月15日 札幌市2名)
- ホームヘルプスキルアップ研修 (27年9月26日 旭川市1名)
- 認知症疾患研修会 (27年11月14日 旭川市2名)
- 認定調査員現任研修 (27年12月20日 士別市2名)
- 士別市介護支援専門員研修 (28年2月9日 士別市6名)

11 平成27年度 強化事業

(1) 権利擁護事業（日常生活自立支援事業・成年後見制度の取組）

意思表示や意思決定が困難な高齢者等に対し、日常的な金銭管理などの生活支援サービスを提供する、日常生活自立支援事業（道社協からの26年度新規委託事業）について、士別・和寒・剣淵・幌加内4社協の共同事業として実施した。

- ・ 自立生活支援専門員（士別市社協に配置）

利用者との契約締結や、生活支援計画の作成等業務

- ・ 生活支援員（4社協にそれぞれ配置）

支援計画に基づく、利用者への直接的な生活支援業務

- ・ 利用実績

平成28年3月31日現在

項目	士別市			和寒町			剣淵町			幌加内町		
	相談	回数	契約	相談	回数	契約	相談	回数	契約	相談	回数	契約
認知	3	25	3	1	1	0	0	0	0	2	10	2
精神	0	4	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0
知的	3	4	1	0	4	2	2	21	0	0	0	0
その他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	7	33	5	1	7	2	2	21	0	2	10	2

成年後見制度については、社協の法人後見事業の推進を目指し、次の取組を実施した。

- ・富良野市社協の法人後見事業視察（27年8月27日）
4社協（士別市・和寒町・剣淵町・幌加内町）職員5名参加

権利擁護事業研修会等開催と他機関主催事業への参加

- ・権利擁護研修会を士別・和寒・剣淵・幌加内の福祉事業所職員・民生委員・社協役職員等を対象に、士別市に於いて実施した。

研修月日 9月29日 会場 士別市民文化センター

研修内容 『権利擁護研修会』

「日常生活自立支援事業の活動を通して」

講師 士別市社会福祉協議会 自立支援専門員 寺口直幸

「生活支援員の活動を通して」

講師 和寒町社会福祉協議会 生活支援員 精進亜希

「旭川市成年後見支援センターの取組及び市民後見人の活動について」

講師 旭川市成年後見支援センター 所長 松林邦明 氏

参加者 74名

- ・日常生活自立支援事業について、上川町社協との役職員意見交換会

実施月日 9月1日 会場 サポートセンターしべつ

参加者 20名

- ・他機関主催の権利擁護研修会への参加 4回 職員9名参加

(2) 士別市地域支え合いサロン開催モデル事業

高齢者が近隣や地域との交流を図り、孤立することなく、健康で生きがいのある生活を送れるよう、自治会が主体となり、食事会・茶話会などを行うサロン事業について、士別市より委託を受け、取組自治会に対し支援した。

自治会名	取 組 内 容	参加延人数
第一町内会 (継続)	・健康相談、血圧測定のほか、講話や人形劇鑑賞、グループ討議、体力測定など実施	190名
親 栄 (継続)	・「知る」(講話や講習会)、「うごく」(健康体操など)、「食べる」(パトロール隊員手作りの昼食会)、「話す・歌う」(テーマを設けて皆で話す、歌う)の四つのテーマを中心に実施	93名
あけぼの (継続)	・福祉研修会を兼ねた交流会(講話、レク、軽食を取りながらのおしゃべりなど)実施	162名
観 月 (新規)	高齢者向けの健康講座及びおしゃべり会など実施	131名
南町南栄 (新規)	・お茶会を中心とした懇談会を開催し、ゲーム、映画鑑賞、そば会など実施	92名
あさひ (新規)	・昼食会、映画鑑賞会、ゲーム困りごと相談、防災訓練など実施	100名

周知・啓発の取組

- ・市内自治会にパンフレット配布にて周知（平成27年4月）
- ・民生委員協議会各部会研修等（5回）を始め、士別市開催の地域政策懇談会（19回）に参加し、事業内容等の説明を通じて、周知啓発を行った。

12 その他

社協監事による監査	4回	8月31日・12月1日・3月23日・5月13日
社協正副会長会議	4回	5月13日・8月18日・11月27日・3月4日
社協理事会	3回	4月1日・4月20日・3月11日
社協評議員会	2回	5月27日・3月25日
地域福祉実践計画策定懇談会		
	2回	10月28日・3月22日
苦情解決第三者委員会	1回	4月6日
出前講座の実施	15回	

地域での福祉活動の推進を図るため、ボランティア活動、高齢者福祉等に関して、自治会、学校等へ職員が出向き出前講座を行った。